

前年度比
2.7%減

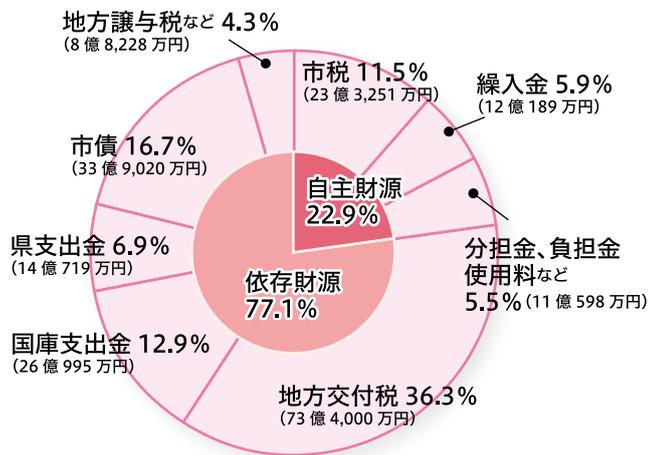
202 億
7千万円

予算編成にあたっては、第2次平川市長期総合プランの将来像「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現のため、3つの基本目標を重点事項の基本としました。
また「第2期平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目的である人口減少対策に力点を置き、予算を重点配分しました。

歳入

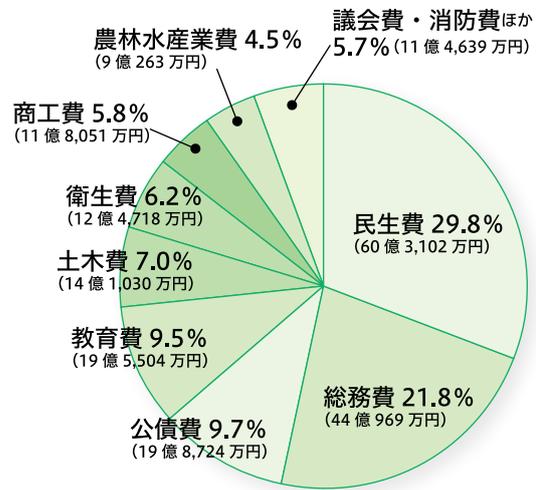
地方交付税73億4,000万円や国県支出金40億1,714万円など、依存財源が156億2,962万円と全体の77.1%を占めており、財源の多くを国や県に頼らなければならない状況になっています。

残る22.9%の自主財源については、市税が23億3,251万円と約半分を占め、繰入金（貯金の取り崩しなど）が12億189万円となっています。



歳出

社会・児童・障がい者福祉などに支出される民生費が60億3,102万円と全体の29.8%を占めており、庁舎の整備などに使われる総務費が44億969万円、市の借金返済のために使われる公債費が19億8,724万円などとなっています。



市民1人当たり

区分	金額
使われるお金	668,183円 (前年度680,690円)
納めるお金	76,889円 (前年度73,480円)

※市の人口30,336人（令和4年3月末現在）で計算しました。

特別会計

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	36億6,400万円
介護保険特別会計	40億8,700万円
後期高齢者医療特別会計	3億6,200万円
診療所特別会計	2億1,000万円
学校給食センター特別会計	3億3,800万円
尾上地区住宅団地温泉事業特別会計	1,110万円

企業会計

区分	予算額	
水道事業	収益的収入	6億913万円
	収益的支出	4億3,830万円
	資本的収入	2,445万円
	資本的支出	1億2,906万円
下水道事業	収益的収入	9億3,620万円
	収益的支出	9億9,352万円
	資本的収入	4億9,615万円
	資本的支出	7億6,425万円

予算用語の説明

- **自主財源と依存財源** 市が自主的に徴収できるお金を「自主財源」、国や県から交付されたり、金融機関などから借り入れるお金を「依存財源」といいます。
- **地方交付税** 税収入が少ない市でも市民に一定水準のサービスを行えるように、国から交付されるお金。
- **市債** 道路や学校を整備するなど、多額の経費がかかる事業を行うときに金融機関などから借り入れるお金。
- **地方譲与税** 国が徴収した自動車重量税などから、一定基準により市に交付されるお金。

今年度実施される事業の概要

魅力あるひとづくり

すこやか住宅支援事業／ユース議会政策提案実証事業／地域運営組織支援事業／ユース議会運営事業／ボールゲームフェスタ開催事業

すこやか住宅支援事業

市内への移住世帯、子育て世帯、新婚世帯を対象に、住宅の新築または購入の費用の一部を助成します。



ユース議会政策提案実証事業

令和3年度に4つのワーキンググループから提案のあった事業について、実現可能な事業を具体化し、実施します。



地域運営組織支援事業

地域の課題を地域住民自らが解決を目指す地域運営組織の活動を支援します。



活力あるしごとづくり

スマート農業導入支援事業／保育士等処遇改善事業／平川ねぶたまつり／農業収入保険制度加入促進事業／空き店舗対策事業

スマート農業導入支援事業



情報通信技術（ICT）などを活用したスマート農業技術を取り入れ、省力化などを図る農業者などへ導入費用の一部を助成します。

保育士等処遇改善事業



賃上げ効果が継続される取組みを行うことを前提に、収入を3%（月額平均9千円）引き上げるための補助を行います。

住み続けたいまちづくり

学校給食費無償化事業／消防団員処遇改善事業／高血圧ゼロのまちを目指すモデルタウン事業／不妊治療費助成事業／生活交通バスICカード導入推進事業

学校給食費無償化事業

子育て世代の市民生活を支援するため、市内全小・中学校の学校給食費無償化を引き続き実施します。



消防団員処遇改善事業

消防団員の処遇改善を図るとともに、団員が出動した際の出勤報酬制度を創設します。



高血圧ゼロのまちを目指すモデルタウン事業

日本高血圧学会のサポートを受け、高血圧に関する知識の啓発、血圧測定、健診受診勧奨、保健指導を実施します。



大型建設事業

新本庁舎建設事業／道の駅いかりがせき大規模改修事業／金田小学校改築事業

新本庁舎建設事業



平川市の顔として、市民が親しみ利用しやすく、人と環境に優しく、そして災害に強い安心・安全の拠点となる庁舎を整備します。

道の駅いかりがせき大規模改修事業



道の駅いかりがせきの建物や設備の改修工事のほか、道路情報館の新築工事を実施し、観光施設としての充実を図ります。